



女性の視点で備える防災



なぜ女性視点が必要なのか

- ① 避難所でプライバシーが確保されにくい
- ② 生理用品・下着などの不足
→衛生面が悪化し、病気のリスクが上がる
- ③ 性暴力リスクの増加

など



避難所での性暴力防止のために

① 出入り口・動線の管理

- 出入り口を限定する
- トイレ・廊下・洗面所などの動線を明るくする
- 死角をつくらないう物資の配置を工夫

「誰が出入りしているか分かる状態」を保つことが大切

② プライバシーの確保

- 女性専用スペース（寝る場所・更衣・授乳）の設置
- パーテーションや段ボールで仕切りを作る
- トイレの施錠や照明を必ず確認

個室・仕切りがあるだけで被害リスクは下がる

③ 女性の運営参加

- 避難所運営に、必ず女性が参加するようにする
- 物資配布・相談窓口・見回りに女性スタッフ配置
- 夜間の見守りを複数人で実施

女性の声を届ける・届けやすくする

☆困った時に声を掛けやすい雰囲気づくりが大切☆

→「相談できる場所がある」と知っているだけで安心感が大きく変わる。

7月18日（土）13:30～

中野裕文さん（徳島県防災人材育成センター推進員）による、「楽しく学ぼう！夏休み防災教室～段ボールベッドやトイレづくりに挑戦～」があります。

防災に関する基本的な知識はもちろん、段ボールを使ってベッドやトイレづくりを体験することが出来ます。この機会に今一度、防災への知識をアップデートしてみませんか？

